

2020 年度

事業計画書



社会福祉法人 寿光会

経営理念及びケア目標・ケア方針

【経営理念】

周りの人の幸せを願うところに自らの幸せもある

（ケア目標）

入居者・利用者のそれぞれの生活スタイルが尊重され、主体的にその人らしく、心穏やかに暮らせる場の創造を目指します。

「ケア方針」

- ①入居者・利用者及びご家族の意向にそった支援に努めます。
- ②残存機能を生かし、自律心を尊重した支援に努めます。
- ③居宅介護の継続性と地域との関係を重視した支援に努めます。
- ④精神的・身体的拘束のないケアに徹します。
- ⑤個々の考え方が尊重され、共通ルールは必要最小限にとどめるように努めます。
- ⑥職員が相互に協力して、チームケアに取り組みます。

《職員モットー》

自らが入居・利用したいと思う施設の創造

事業内容

高齢者総合ケアステーション寿光園

- ・特別養護老人ホーム寿光園（定員：60名）
- ・地域密着型特別養護老人ホーム寿光園（定員：16名）
- ・デイサービスセンター寿光園（定員：18名）【地域密着型通所介護】
- ・寿光園ヘルパーステーション
- ・寿光園ショートステイ事業部（定員：13名）
- ・八尾ケアプランセンター寿光園
- ・グループホーム寿光園（定員：9名）
- ・八尾市地域包括支援センター寿光園

高齢者総合ケアセンター柏原寿光園

- ・特別養護老人ホーム柏寿（定員：30名） 【小規模従来型施設】
- ・特別養護老人ホーム高寿（定員：30名） 【小規模ユニット型施設】
- ・有料老人ホーム安寿（定員18名）
- ・デイサービスセンター高寿（定員18名） 【地域密着型通所介護】
- ・柏原寿光園ホームヘルプセンター
- ・ショートステイ柏寿（定員：10名）
- ・ショートステイ高寿（定員：10名）
- ・柏原ケアプランセンター寿光園
- ・柏原地域生活支援事業

柏原地域密着型高齢者施設太寿

- ・特別養護老人ホーム太寿（定員29名）
- ・ショートステイ太寿（定員：10名）
- ・グループホーム太寿（定員：9名）

八尾地域密着型高齢者施設楽寿

- ・特別養護老人ホーム楽寿（定員29名）
- ・デイサービスセンター楽寿（定員：25名）
- ・ショートステイ楽寿（定員：10名）
- ・八尾市地域包括支援センター楽寿

その他、社会貢献事業(地域における公益的活動)等

- ・大阪社会貢献事業（生活困窮者レスキュー事業）
- ・柏原民間社会福祉施設連絡会（生活支援事業）
- ・生活困窮者就労訓練事業（中間就労）の就労訓練対象者の受け入れ。
- ・こども食堂の開催
- ・学習支援の会の開催
- ・高齢者専用喫茶“お茶処ことぶき”の開催

2020 年度

社会福祉法人 寿光会 事業計画書

少子高齢化が加速する中、日本の高齢化率は 2018 年 10 月 1 日現在で 28.1%となっており、2025 年には高齢化率 30%を超え、認知症高齢者は 700 万人を越えるとの推計もでております。高齢化が進むと共に現役世代人口の減少、平均寿命が延びたことによる老老介護の問題、核家族化による住まいの問題等、今後の高齢者福祉にかかわる課題は山積しております。介護を担う介護人材も慢性的に不足する中、1 人 1 人の介護負担が大きく離職につながるケースも増えてきております。このように介護を担う人材確保が困難となりつつある中、高齢者、とりわけ認知症高齢者の介護問題は今後大きな社会問題ともなってきます。認知症高齢者の尊厳の保持と可能な限り住み慣れた地域において人生の最後まで自分らしい暮らしを継続し自立支援を支える地域の包括的、サービス提供体制の構築が急務となっております。

このような複雑な課題が山積する中、当法人においても長期的な展望のもと地域の課題を認識し、課題解決の一助を担っていかねばなりません。その中で地域の認知症高齢者対策への取り組みの一つとして柏原市の「第 7 期柏原市いきいき元気計画（認知症対応型共同生活介護事業）」の公募がありました。現在柏原市では大阪府下で介護保険料が 2 番目に高い状況であり、今後当面の公募はないと思われることもあり、人員確保は大きな課題ではありましたが、当法人として応募し選定されました。これを 2020 年度の法人としての取り組みの一つとして 2021 年 3 月開設を予定しているグループホーム柏原寿光園（仮称）を地域に根差した施設として早期に安定運営ができるよう経営会議を中心として取り組んでいきます。そのためには人材の充足と安定は不可欠です。現在、当法人では既存施設においても人材不足が喫緊の課題ではありますが、今後もサービスの維持・向上のため、介護人材の充足、働きやすい職場環境のさらなる整備が必要となってきます。そのため 2020 年度力点を置く介護人材の充足の手段の一つとして、技能実習生を始めとする外国人労働者の活用を積極的に行うことです。既に 2020 年度には 8 名のモンゴル人技能実習生の受け入れを予定しており 1 ヶ月の日本での習慣、介護の基礎研修を行い早ければ 6 月頃には就任の予定となっております。また、ベトナムからは 1 名の技能実習性と 2 名の留学生も早ければ 4 月から就任を予定しております。このように今後、日本での生活援助を含めた受け入れ態勢の整備を進めることで技能実習生の技術の習得と人材の充足に取り組んでまいります。また、人材の充足のみならず、業務の効率化のため、介護ロボット等を活用した見守り機器、介護負担の軽減や介護業務の軽減のため IoT（もののインターネット）等の活用も視野に入れて業務の合理化にも取り組んでいきます。

運営管理部門

① 新規事業および施設整備事業等

2020年1月、第7期柏原市いきいき元気計画の公募事業者（地域密着型サービス・認知症対応型共同生活介護）に選定されました。建設予定地は、2018年3月、老朽化により柏原市大字高井田へ移転した柏原寿光園の旧施設（柏原市大字安堂所在）を取り壊した跡地とし、グループホーム柏原寿光園（仮称）（2ユニット 定員18名）を今年度建設に着手し、2021年3月の開設を目指します。

② 組織

1、理事会

理事7名によって構成され、業務執行の決定機関として機能し、事業計画・予算書および事業報告・決算書策定を行う等、業務を執行します。理事会には監事が出席し、会を監査します。

2、評議員選任・解任委員会

外部委員2名（内1名を監事と置きかえることができる）、事務局員1名で構成し理事会から推挙された候補者の中から、評議員を選任します。又、正当な理由がある時には、正当な手続きにより評議員を解任することがあります。

3、評議員会

評議員8名で構成され、法人運営の基本ルール・体制を決定、事業報告・決算の承認、理事の選任・解任等を行う決議機関として、法人運営を監督する役割を果たします。

4、経営会議（事務局会議）

寿光会経営会議設置要綱に準じて、理事長が委嘱した6名以下の委員で構成され、法令を遵守した法人の適正運営の実行や、長期的な経営戦略等について協議するため、原則として月に2回開催します。また各会との関係では、事務局として機能します。

5、各事業所の組織

各事業所ではそれぞれ組織表を作成して役割を明確にし、個々の役割に応じて職務を遂行します。同時に各事業所間では、業績や業務内容について切磋琢磨するとともに、相互に補完して法人全体の業績や評価を向上させるように努めます。

③ 人事

1、評議員・役員等

2020年度評議員・役員等は、評議員選任・解任委員会において選任された新評議員、2019年度の定例評議員会において選任された新理事、新監事により法人の運営と運営の透明性の確保に取り組んでいきます。

2、職員

人材育成のため、法人全体による共通内容の研修や資格取得の支援策等を実施します。また人材確保のため、キャリアパスを具体化し活用する等、職場環境の改善に努め、より働きやすい職場を目指すことで職員が勤続年数を延ばしていけるように努めます。

サービス事業部門

①法人としての取り組み

1、新規事業（認知症対応型共同生活介護事業）への取り組み

柏原市安堂（旧柏原寿光園跡地）に2021年3月開設予定の認知症対応型共同生活介護（グループホーム：2ユニット18名）事業について、開設後早期に安定したサービスが提供できるよう運営体制の確立のため入居申込者の受け入れ準備、介護体制の整備、事前の職員採用・研修を計画的に行い、開設と同時にスムーズな運営が行えるような体制構築に取り組んでいきます。

2、人材確保と雇用の安定

人材確保のため福利厚生のさらなる充実（2019年度では誕生日祝い金の導入）を検討、新卒採用や各拠点の特長を活かした求人活動を行うと共に外国人技能実習生、留学生の受け入れを積極的に行い、また継続的受け入れができるような体制整備等も進めていきます。

人材定着の取り組みとしては、法人全体での研修、習熟度にあったキャリアアップ研修を計画的に行い、介護技術だけではなく幅広く知識・技術の向上及びフォローアップのための体制の強化も行い、また処遇改善加算を有効かつ柔軟に活用し職員処遇の向上、雇用の安定に取り組んでいきます。

3、サービスの質の向上と安定的な稼働率の確保

各職員が施設内外の研修に積極的に参加し、そこで習得した知識・技術を皆で共有できる体制を強化し、実践を重ねることでサービスの質を継続的に確保できるよう、また研修等で新たに得た知識・技術をサービスに反映させることで、サービスの質の向上にも努めていきます。

そして安定的な稼働率確保のため、各拠点各種サービスの特性を最大限発揮できるよう拠点間での連携会議等において、情報共有やそれぞれの課題の共有・検討を行い、その拠点ごとの特性に応じた利用希望者の紹介やニーズの発掘を行うなど、拠点間の連携強化をはかりながら法人全体の稼働率の安定へとつなげていきます。

②拠点ごとの取り組み

●寿光園

施設系サービスにつきましては、入居者の重度化に伴い平均入居期間が短縮され退去者数が年々増加する中で、空床期間をできる限り短縮し効率よく運用していくための工夫が必要となります。その工夫の1つ目が入居待機者の管理です。過去に比較すると入居待機者数は減少していますが、その要因としてサ高住や有料老人ホームの増加が考えられます。また入居待機者の中には医療ニーズの高い方も含まれますが、そのために受け入れが困難なケースもあり、現実的には待機者になり得ない方も多く含まれます。常時、待機者名簿を精査し、実情に合う待機者の選考がいつでもできるよう準備が必要です。2つ目の工夫は、職員の確保と安定した組織の構築です。介護人材が不足する中で求人活動はもちろん同時に派遣職員や外国人労働者の活用等と、課題は山積しています。権利意識が高まり、利用者ニーズが多様化していく中で十分に対応していくためには、個々の職員のスキルの向上と組織力の向上が不可欠です。法人内研修や施設内研修等の機会を十分活かし、人材育成に取り組むとともに、組織力の向上を目指します。

居宅系サービスですが、デイサービスにおいては2019年度より地域密着型に移行したものの実績は伸び悩んでいます。ヘルパーステーションも同様に、利用者は減少傾向で、ショートステイは2019年度より定員が19名から13名に変更したことを受け、新規の利用者を受けることが困難な状況となっています。その中でも、今以上の営業力の向上とサービス内容の見直しや工夫を行い、また各事業所の特色等を居宅介護支援事業所に広報していくことを更に強化し、新規利用者の獲得を目指すと共に組織編成等も検討しながら、その人らしい安心できる居宅生活を支援できるよう努めます。

●柏原寿光園

柏原市高井田地区に移転してからまもなく2年が経過し、お陰様で地域の皆様方に認知頂き、ご利用も増えています。当拠点は柏原市域の高齢者施設では唯一、特養と居宅サービス事業所に住宅型有料老人ホームが併設されています。これまで多くの特養入居を希望するご相談をお受けしてまいりましたが、時に要介護度2以下であるケースがあります。この場合、特養の入居申し込み受付が出来ない事から、在宅サービスなどのご提案をするしか方法はありませんでしたが、今ではこういった方々には住宅型有料老人ホームご入居のご提案が可能となりました。これに従い、訪問介護や通所介護その他多彩な介護サービスを組み合わせたご提案が可能であるメリットをより一層活かせるよう、地域の方々へアナウンスし、また他の居宅介護支援事業等に御案内・ご提案をいたします。

また法人単位による職員研修などの機会を活用しながら、サービス提供の源であり重要である、人材の育成に努め、人材の定着を図ります。

●太寿

特養・ショート・グループホームの3事業で共通することとして、稼働率の維持・向上と加算体制獲得の追求をこれまで通り継続し、さらなる経営基盤の盤石化を図って参ります。それらを実現するためには「人」が重要となってきます。まずは近年減少している特養入居への入居申し込みを増やすこと。「太寿で生活したい」というニーズを高めるため、現在利用されている方の満足度を高めて地域社会からの信頼獲得を目指すと共に、広報・PR活動の機会を積極的に活用していきます。また、所属するスタッフは宝であり、1人1人を大切にしていくため、明るくて居心地が良く、どんな人にもウエルカムな雰囲気を感じてもらえるような職場環境づくりにも力を入れていきます。その結果、離職率を軽減し、新たな人材と巡り合える可能性の向上に繋げていきたいと考えています。

柏原市太平寺に誕生して早9年。年々地域社会との繋がりも深まり、少しずつではありますが地域密着型の施設らしくなってきました。これまで培ってきたことをベースとしつつ、令和2年度はより個性性に特化したケアを推進していきたいと考えています。日常の適切なケア提供は当然のこととして、「その方の願い」や「喜ばれること」を実現することに各ユニットで取り組み、より充実した日々を過ごせるためのサービス提供を追求していきます。

●楽寿

入所系サービス（特養）ではユニットケアの特徴を最大限に活用し、個々それぞれ異なる入居者の生活スタイル、ニーズに応えるため個別ケアのあり方を常に追及し、入居者皆が地域で生活していることを実感し、心安らかに暮らせる場の継続に努めていきます。職員教育では人材確保が困難な中、新任職員には段階を追ったマンツーマンでのOJT研修をはじめ、全人的な人材育成に努め、振り返りを含めた個別指導により長期的な人材育成に取り組んでいきます。また入居待機者が減少する中、居宅介護支援事業所をはじめ、地域での広報活動等により施設の知名度をあげ、気軽に相談に来られるような施設作りと稼働率の向上に努めていきます。

居宅系サービスとしてショートステイ事業では人材確保が困難な中、現状利用者のニーズに十分応えることが困難ではありますが、人材の確保を進めながら、ご利用者の在宅生活の課題を認識し、柔軟な対応により安心してご利用できるサービス提供を可能な範囲で継続していきます。また、柏原市に隣接している立地条件から柏原市内の利用者についても徐々に利用を増やしていけるよう努めていきます。デイサービス事業では利用者の方々の残存機能の維持・向上と社会との関わりの場としての役割を担い、利用者の方々が在宅生活をその人らしく継続できるよう支援していきます。また、「楽寿のデイサービスにきてよかった。楽寿で過ごしていると楽しい」と思ってもらえるようなサービスの内容・質にしていくよう職員一丸となって努めていきます。そして地域包括支援センター事業においては、年々地域の高齢者を取り巻く課題が複雑化・多様化の傾向にあり、1件の相談対応が長期化し、「総合相談」に費やす比重が大きくなる為、「介護予防支援」及び「介護予防マネジメント」は地域のケアマネジャーに委託しながら、「総合相談」機能の強化に努めていきます。また、2019年12月の民生委員の一斉改選、2020年2月からの八尾市の出張所窓口業務再開にあたり、関係機関との連携方法も変えながら、地域との関わりを進めていきます。介護予防教室及び家族介護者教室については、少しずつ参加人数が増えてきており、今後も継続していきます。

事業数値目標

【特別養護老人ホーム事業】

		寿 光 園	寿光園 (地域密着)	柏 寿	高 寿 (ユニット)
目標数	利用定員	60名	16名	30名	30名
	延利用人数	21,024名/年	5,606名/年	10,512名/年	10,512名/年
	稼働率	96%	96%	96%	96%
2018年度 実績(参考)		19,143名/年	5,781名/年	10,430名/年	9,602名/年
		楽 寿 (地域密着)		太 寿 (地域密着)	
目標数	利用定員	29名		29名	
	延利用人数	10,161名/年		10,161名/年	
	稼働率	96%		96%	
2018年度 実績(参考)		10,388名/年		10,189名/年	

【短期入所及び介護予防短期入所生活介護事業】

		寿 光 園	柏 寿	高 寿
定 員		13名	10名	10名
目標数	延べ利用人数	3,559名/年	2,737名/年	2,555名/年
	稼働率	75%	75%	70%
2018年度 実績(参考)		5,672名/年	3,485名/年	135名/年
事業実施地域		八尾市 東大阪・柏原市一部	柏原市全域	柏原市全域
		楽 寿	太 寿	
定 員		10名	10名	
目標数	延べ利用人数	2,555名/年	2,555名/年	
	稼働率	70%	70%	
2018年度 実績(参考)		2,247名/年	2,817名/年	
事業実施地域		八尾市全域 柏原市全域	柏原市全域 八尾市一部	

【通所介護事業・総合事業】

		寿 光 園	楽 寿	高 寿
目標数	利用定員	18名/日	25名/日	18名/日
	延利用者数	3,906名/年	5,425名/年	3,931名/年
	稼働率	70%	70%	70%
2018年度 実績(参考)		3,327名/年	5,542名/年	4,294名/年
事業実施地域		八尾市全域 (地域密着型)	八尾市全域 柏原市(法善寺・山ノ井)	柏原市全域 (地域密着型)
事業所営業時間		8:30~17:30	8:00~17:00	8:30~17:30
事業所休日		日曜・12/31~1/3	日曜・12/31~1/3	日曜・1/1~1/3

【訪問介護事業・総合事業】

		寿 光 園	柏 原 寿 光 園
目標数	利用者登録数	50名/月	55名/月
	延べ利用回数	7,800回/年	7,200回/年
	平均利用回数	650回/月	600回/月
2018年度 実績(参考)		8,065名/年	7,006名/年
事業実施地域		八尾市内全域	柏原市全域
サービス提供時間		7:00~21:00	6:00~20:00
事業所休日		年中無休	年中無休

【認知症対応型共同生活介護事業】

		寿 光 園	太 寿	柏 寿
目標数	利用定員	9名	9名	18名
	延べ利用人数	2,957名/年	2,957名/年	279名/年
	稼働率	90%	90%	4%
2018年度 実績(参考)		3,076名/年	3,198名/年	—

【居宅介護支援事業及び介護予防支援事業】

			寿 光 園	柏 原 寿 光 園
目標数	延べ作成 件数	介護	100名/月・1,200名/年	120名/月・1,440名/年
		予防	30名/月・360名/年	20名/月・240名/年
2018年度 実績(参考)		介護	1,186名/年	1,553名/年
		予防	396名/年	277名/年
事業実施地域			八尾市内全域	柏原市内全域
事業所営業時間			8:30~17:30	9:00~18:00
事業所休日			日曜・12/30~1/3	土曜・日曜・12/30~1/3

【地域包括支援センター事業】

			八尾市地域包括支援センター 寿 光 園	
担当地域			高安中学校区	
事業所営業時間			24時間対応(時間外は特養にて受付)	
目標数	実態把握件数		205件(上限設定あり)	
	ケアプラン作成件数		45件/月(※うち原案委託15件/月)	
2018年度 実績(参考)			実態把握件数	189件/年
			ケアプラン作成件数	55件/月(※うち原案委託22件/月)

		八尾市地域包括支援センター 楽 寿	
担当地域		志紀中学校区	
事業所営業時間		24 時間対応（時間外は特養にて相談受付）	
目標数	実態把握件数	205 件（上限設定あり）	
	ケアプラン作成件数	160 件/月（※うち原案委託 155 件/月）	
2018 年度 実績（参考）		実態把握件数	111 件/年
		ケアプラン作成件数	172 件/月（※うち原案委託 163 件/月）

【有料老人ホーム事業】

		有料老人ホーム 安寿
目標数	利用定員	18 名
	延利用人数	5,256 名/年
	稼働率	80%
2018 年度 実績（参考）		3,380 名/年

（障害者総合支援法）

【柏原市地域生活支援事業】

		柏原 寿 光 園
目標数	延べ人員	50 名/年
2018 年度 実績（参考）		42 名/年
事業実施地域		柏原市内全域
事業所営業時間		8：30～17：30
事業所休日		土曜・日曜・12/30～1/3

【社会貢献事業（地域における公益的活動）等】

昨年度に引き続き、2020 年度も地域における公益的活動を推進してまいります。

＊大阪社会貢献事業（生活困窮者レスキュー事業）

＊柏原民間社会福祉施設連絡会（生活支援事業）

＊生活困窮者就労訓練事業（中間就労）の就労訓練対象者の受け入れ。

＊こども食堂の開催 月2回（第2、第4木曜：17：30～20：00）

＊学習支援の会の開催 月2回（第1、第3木曜：18：00～20：00）

＊高齢者専用喫茶“お茶処ことぶき”の開催 月1回（第3木曜日：14：00～16：00）